介護職員初任者研修情報開示資料

研修機関情報	法人情報	● 法人格・法人名称・住所等 株式会社 土屋 岡山県井原市井原町 192 番地 2 久安セントラルビル 2 階 代表取締役 大山 敏之 ● 代表者名、研修事業担当理事・取締役名 取締役 兼 土屋ケアカレッジ代表 五十嵐　憲幸 詳細はホームページ参照。 https://tcy.co.jp/
	研修機関情報	● 事業所名称・住所等 土屋ケアカレッジ大宮教室 〒330-0852 埼玉県さいたま市大宮区大成町 3 丁目 513 番地セブンビル 4 階 A 号室 ● 理念 介護に携わる者が、業務を遂行する上で最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようにすることを目的として実施する。 ● 学則 別紙「学則」参照 ● 研修施設、設備 別紙「研修会場一覧」「使用備品一覧」参照
研修事業情報	研修の概要	● 対象 別紙「学則」第 10 条とおり ● 研修のスケジュール（期間、日程、時間数） 別紙「研修日程表（通信課程用）とおり ● 定員（集合研修、実習）と指導者数 定員：12 名　　指導者数：10名 ● 研修受講までの流れ（募集、申し込み） 別紙「学則」第 13 条とおり ● 費用 別紙「学則」第 14 条とおり ● 留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等 ・留意事項 研修事業の実施に当たり、次のとおり必要な措置を講じることとする。

		⑴ 研修の受講に際して、受講申し込み受付時または研修開始日の開校式までに本人確認を行う。本人確認の方法は、以下の公的証明書の提出等により行うものとし、本人確認ができない場合は、受講の拒否または修了の認定を行わないものとする。 ①戸籍謄本、戸籍抄本もしくは住民票の提出 ②住民基本台帳カードの提示 ③在留カード等の提示 ④健康保険証の提示 ⑤運転免許証の提示 ⑥パスポートの提示 ⑦年金手帳の提示 ⑧国家資格等を有する者については免許証または登録証の提示 ⑨マイナンバーカード等の提示 ⑵ 研修に関して下記の苦情等の相談窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事 故が生じた場合には迅速に対応する。 苦情対応部署：土屋ケアカレッジ受講生担当窓口 電話 050-3138-2024 ⑶ 当事業所は個人情報の保護の重要性を認識し、研修の実施に当たっては、個人の権 利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行う。受講者とは電磁 的方法もしくは書面により同意を得る。 ⑶ 当事業所は、都道府県に研修実施状況を報告する場合を除き、研修の実施に際して知 り得た個人情報を研修目的以外のために利用し、又は第三者に提供しない。 ⑷ 講師または受講生について、他法人が経営する事業所、施設への勧誘行為等を禁止する。 ・特徴 　通学 13 日間、自宅学習全 4 回を一緒におこなっていただく研修です。 実技試験、筆記試験をおこない、総合的に評価し合格となった場合には、修了証を発行いたします。 修了証はご自宅へ後日郵送いたします。 ・受講生の方へ 困ったこと、不安なことがありましたらお気軽にお問い合わせください。
	課程責任者	● 課程編成責任者名 土屋ケアカレッジ大宮教室 課程編成責任者 細井俊一

	研修カリキュラム	● 科目別シラバス 別添２－２ シラバス参照 ● 科目別時間数 別紙「研修日程表（通信課程用）とおり ● 科目別担当教官名 別紙2－1 科目･カリキュラム一覧(見学等実習なし)とおり ● 科目別特徴 演習の場合は、実技内容・備品、指導体制 ・科目別特徴および実技内容 別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」参照 別紙「別添２－２ シラバス」参照 ・備品について 別紙「使用備品一覧」参照 ・指導体制について 別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」参照 ● 科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間 別紙「別添２－２ シラバス」とおり ● 通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題 別紙「添削指導及び面接指導の指導方法書」とおり ● 修了評価の方法、評価者、再履修等の基準 別紙「学則」第 17 条とおり
	実習施設	※実習の予定なし
	その他	● 資格取得後に就業可能な職務 ・訪問介護 ・グループホーム ・特別養護老人ホーム ・病院　　等
講師情報		● 名前、略歴、現職、資格、担当科目 別紙「講師一覧」参照
実績情報		● 過去の研修実施回数（年度ごと） 令和7年　9月、1月　全2回　計9名
連絡先など		● 申し込み・資料請求先 土屋ケアカレッジ運営事務局 TEL:050-3138-2024 Mail:college@care-tsuchiya.com Web: https://tcy-carecollege.com

		● 法人の苦情対応者名・役職・連絡先 取締役 兼 土屋ケアカレッジ代表 五十嵐　憲幸 TEL:050-3138-2024 ● 事業所の苦情対応者名・役職・連絡先 土屋ケアカレッジ大宮教室 課程編成責任者　細井俊一 TEL:080-4057-3046

学　　則

1　法人等の名称、所在地、 代表者の氏名及び研修実施主体の名称、所在地	株式会社　土屋 岡山県井原市井原町 192 番地 2 久安セントラルビル 2 階 代表取締役　大山敏之
2　研修事業の名称	土屋ケアカレッジ介護職員初任者研修(通信)
3　研修の種類	介護職員初任者研修
4　指定番号	東中福第 1494 号
5　研修課程	通信課程
6　講義･演習室名及び住所	土屋ケアカレッジ大宮教室 埼玉県さいたま市大宮区大成町 3 丁目 513 番地セブンビル 401
7　演習施設一覧	土屋ケアカレッジ大宮教室
8　講師一覧	別紙 3 講師一覧表を参照
9　使用テキスト一覧	介護職員初任者研修テキスト(中央法規出版株式会社)
10　受講資格	(1)埼玉県内または埼玉県近郊在住･在勤で通学可能な者 (2)株式会社土屋の社員で、研修を必要とする者
11　広報の方法	ダイレクトメッセージ、インターネット広告、新聞など折込情報誌による広告、及び自社のホームページ。
12　情報開示の方法	下記ホームページにおいて情報開示する。 ホームページアドレス:https://tcy-carecollege.com/
13　受講手続き方法	募集手続きは次のとおりとする。 (1)申込み方法:電話･メール･ Web にて受付。運営事務局は受付後、受講者に受講決定通知をメールにて送付。 申込み先:土屋ケアカレッジ運営事務局 TEL:050-3138-2024 Mail:college@care-tsuchiya.com Web: https://tcy-carecollege.com/ 受講決定方法:申し込み受付後定員調整の上決定 (応募者多数の場合の決定方法:申込順) (2) 当社は、書類審査の上、受講者の決定を行い受講の決定を受講者あてに通知する。 (3)受講の決定を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。 (4)当社は、受講料等の納入を確認した後、初回授業の際に教材を手渡しする。
14　受講料及び支払い方法	29,000 円(テキスト代、消費税含む) ･銀行振込 規定期日までに所定の銀行口座へ振込み。 ･クレジットカード決済 ･ PayPay 決済
15　解約条件及び返金の有無	受講者からのキャンセル ･受講開始日の 3 日前まで:【全額返金】 ･受講開始日 3 日前を経過後:【キャンセル不可】 ※上記返金はキャンセル受付後、申込者の指定する口座へ振込にて返金(手数料は受講生負担、現金による返金は不可) その他、当校側からのキャンセル(開講の取り止め) ･受講申込み者数が最少開催人数に満たず開講できなかった場合:【全

	額返金】 ・その他の止むを得ない理由が発生し開講できなかった場合：【全額返金】 ※上記返金は、キャンセル（開講取り止め）確定後速やかに受講申込者に連絡の上、受講者の指定する口座へ振込にて返金（手数料は当社負担、現金による返金は不可）
16　受講者の個人情報の取扱い	当事業所は、個人情報の保護の重要性を認識し、研修の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行う。受講者とは電磁的方法もしくは書面により同意を得る。当事業所は、都道府県に研修実施状況を報告する場合を除き、研修の実施に際して知り得た個人情報を研修目的以外のために利用し、又は第三者に提供しない。。
17　研修修了の認定方法	（1）介護技術習得度合や修了評価の評価方法 ・修了の認定は、次の修了評価（成績評価及び筆記試験）を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。 ・成績評価は担当講師が科目ごとに行い、各受講者の知識・技術等の習得度に基づいて項目全体の評価を行う。また、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。実技試験は、「9　こころとからだのしくみと生活支援技術」の面接授業内で行う。成績評価で知識・技術等の習得が十分でないと評価された者は必要に応じて補講等を行い、筆記試験より前に到達目標に達するように支援する。 ・筆記試験は、研修カリキュラムを全て履修した者に対して行う。 評価基準は次のとおり理解度及び実技習得度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価したうえで、C 以上の評価の受講者は評価基準を満たしたものとして認定する。評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講などを行い、基準に達するまで再評価を行う。 認定基準（100 点を満点とする） A＝90 点　B=80～89 点、C=75～79 点、D=75 点未満 （2）通信添削課題 ・添削課題を提出期限までに提出することとする。 ・合格点に達しない場合は、合格点に達するまで再提出を求める。受講生の質問については、電話での質疑のやりとり、もしくはメールにて受け付け、回答をおこなう。 TEL：050-3138-2024　Mail：college-kantou@care-tsuchiya.com ・添削課題については、課題の理解度及び記述の的確性、論理性に応じて、担当講師が A、B、C、D の評価を行うこととする。（A=90 点以上、B=80～89 点、C=70～79 点、D=70 点未満） 尚、評価 C 以上を合格とする。
18　補講の方法及び取扱い	補講の方法：研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、土屋ケアカレッジ所属の当該科目の講師要件を満たす講師が補講を行うことにより当該科目を修了したものとみなす。 補講に要する費用：無料
19　受講中の事故等についての対応	受講中の事故が生じた場合には迅速に対応する。 苦情・事故対応部署：株式会社土屋 土屋ケアカレッジ運営事務局 苦情事故等窓口電話　050-3138-2024
20　研修担当者名及び連絡先	担当者氏名：細井俊一 連絡先：050-3138-2024
21　苦情相談担当者及び	担当者氏名：細井俊一

連絡先	連絡先:050-3138-2024
22 研修責任者名及び その役職	担当者氏名:細井俊一 役職:運営マネージャー
23 その他必要な事項	(修了証明書を喪失した場合の取扱い) 証明書交付に係る費用:2,000 円+発送費用(代引き手数料+送料) (研修欠席者の扱い) 理由の如何にかかわらず、研修開始から 10 分以上遅刻した場合は欠席とする。 (受講の取り消し) 次に該当する者は、受講を取り消すことができる。 (1)学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者 (2)研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した者 (3)反社会的勢力またはその関係者と認められる者 (4) 上記の 3 項を含み、その他の学則に違反がない者で、個人の日本語能力、学習能力に問題があり、修了の見込みがないと当事業所から判断された場合。この場合に限り、受講料の半額返金を行い退学とする。 (5) その他この学則または、これに基づく規定に違反した場合。 (入学者の選考) 外国籍を有する者で本講座を受講することができる者は、日本語能力試験 N3 クラス以上、またはそれに相当する日本語能力を有するものとする。

【附則】

この学則は令和 8 年 1 月 1 日から施行する。

【附則】

この学則は令和 8 年 4 月 10 日から施行する。

研修会場一覧

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

研修課程　介護職員初任者研修　通信課程

	会場名	定員	（演習会場が異なる場合）	定員
		面積（㎡）	会場名	面積（㎡）
	所在地		所在地	
		借上げ		借上げ
1	土屋ケアカレッジ大宮教室	12人	左記と同じ	
		44.5㎡		
	埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目513番地 セブンビル4階A号室		左記と同じ	
		賃貸		

使　用　備　品

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

研修課程　介護職員初任者研修 通信課程

備品名	台数	所有　／　レンタル
ベッド	2	所有　・レンタル　・その他（　　）
車いす	2	所有　・レンタル　・その他（　　）
ポータブルトイレ	2	所有　・レンタル　・その他（　　）
浴　槽	0	所有　・レンタル　・その他（　　）
つ　え	2	所有　・レンタル　・その他（　　）
（その他） 心配蘇生人形 紙おむつ 紙パンツ ディスポ手袋	 1 必要数 必要数 必要数	

研修日程表（通信課程用）

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室
研修課程　介護職員初任者研修（通信課程）

研修期間：令和　8年　4月3日　～　令和　8年6月26日
通信最終締切日：令和　8年 6月19日

1　通学日程表

月日	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	講師	通信課題
4月3日	9:00～9:30	0.5	開校式・オリエンテーション	井原貴重	
	9:30～12:40	3	1-①多様なサービスの理解	井原貴重	
	13:30～16:40	3	1-②介護職の仕事内容や働く現場の理	井原貴重	
	16:50～17:50	1	2-①人権と尊厳を支える介護	井原貴重	
	18:00～19:00	1	2-②自立に向けた介護	井原貴重	
4月10日	9:00～10:00	1	3-①介護職の役割、専門性と多職種との連携	仁科乃吏子	
	10:10～11:10	1	3-②介護職の職業倫理	仁科乃吏子	
	11:20～12:20	1	3-④介護職の安全	仁科乃吏子	
	13:10～14:10	1	4-①介護保険制度	仁科乃吏子	
	14:20～15:20	1	4-③障害者福祉制度およびその他制度	仁科乃吏子	
	15:30～16:30	1	5-①介護におけるコミュニケーション	仁科乃吏子	
	16:40～18:50	2	5-②介護におけるチームのコミュニケーション	仁科乃吏子	
4月17日	9:00～11:10	2	6-①老化に伴うこころとからだの変化と日常	澤田達郎	
	11:20～12:20	1	6-②高齢者と健康	澤田達郎	
	13:10～14:10	1	7-①認知症を取り巻く状況	澤田達郎	
	14:20～15:20	1	7-③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	澤田達郎	
	15:30～16:30	1	7-④家族への支援	澤田達郎	
	16:40～17:40	1	8-①障害の基礎的理解	澤田達郎	
	17:50～18:20	0.5	8-②家族の心理、かかわり支援の理解	澤田達郎	
4月24日	9:00～16:30	6	9-④生活と家事	工藤千恵	
	16:40～18:15	1.5	9-⑤快適な居住環境整備と介護	工藤千恵	
5月1日	9:00～10:40	1.5	9-⑤快適な居住環境整備と介護	工藤千恵	
	10:50～18:15	6	9-⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	工藤千恵	
5月8日	9:00～16:30	6	9-⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	1回目

5月15日	9:00～16:30	6	9-⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	2回目
5月22日	9:00～16:30	6	9-⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	3回目
5月29日	9:00～16:30	6	9-⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと	加藤恵子	4回目
6月5日	9:00～16:30	6	9-⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	
6月12日	9:00～14:40	4.5	9-⑪睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	秋山佳世子	
	14:50～16:20	1.5	9-⑫死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	秋山佳世子	
	16:30～18:40	2	9-⑬介護過程の基礎的理解	秋山佳世子	
6月19日	9:00～18:40	8	9-⑭総合生活支援技術演習	秋山佳世子	
6月26日	9:00～11:10	2	9-⑭総合生活支援技術演習	秋山佳世子	
	11:20～13:30	2	10-①振り返り	秋山佳世子	
	14:20～16:30	2	10-②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	秋山佳世子	
	16:40～18:00	1	修了試験	秋山佳世子	

研修日程表（通信課程用）

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室
研修課程　介護職員初任者研修（通信課程）

研修期間：令和　8年　5月17日　～　令和　8年8月9日
通信最終締切日：令和　8年 8月2日

1　通学日程表

月日	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	講師	通信課題
5月17日	9:00～9:30	0.5	開校式・オリエンテーション	長藤成眞	
	9:30～12:40	3	1-①多様なサービスの理解	長藤成眞	
	13:30～16:40	3	1-②介護職の仕事内容や働く現場の理	長藤成眞	
	16:50～17:50	1	2-①人権と尊厳を支える介護	長藤成眞	
	18:00～19:00	1	2-②自立に向けた介護	長藤成眞	
5月24日	9:00～10:00	1	3-①介護職の役割、専門性と多職種との連携	井原貴重	
	10:10～11:10	1	3-②介護職の職業倫理	井原貴重	
	11:20～12:20	1	3-④介護職の安全	井原貴重	
	13:10～14:10	1	4-①介護保険制度	井原貴重	
	14:20～15:20	1	4-③障害者福祉制度およびその他制度	井原貴重	
	15:30～16:30	1	5-①介護におけるコミュニケーション	井原貴重	
	16:40～18:50	2	5-②介護におけるチームのコミュニケーション	井原貴重	
5月31日	9:00～11:10	2	6-①老化に伴うこころとからだの変化と日常	仁科乃吏子	
	11:20～12:20	1	6-②高齢者と健康	仁科乃吏子	
	13:10～14:10	1	7-①認知症を取り巻く状況	仁科乃吏子	
	14:20～15:20	1	7-③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	仁科乃吏子	
	15:30～16:30	1	7-④家族への支援	仁科乃吏子	
	16:40～17:40	1	8-①障害の基礎的理解	仁科乃吏子	
	17:50～18:20	0.5	8-②家族の心理、かかわり支援の理解	仁科乃吏子	
6月7日	9:00～16:30	6	9-④生活と家事	小野田眞久美	
	16:40～18:15	1.5	9-⑤快適な居住環境整備と介護	小野田眞久美	
6月14日	9:00～10:40	1.5	9-⑤快適な居住環境整備と介護	小野田眞久美	
	10:50～18:15	6	9-⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	
6月21日	9:00～16:30	6	9-⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	1回目
6月28日	9:00～16:30	6	9-⑦移動・移乗に関連したこころと	加藤恵子	2回目

			からだのしくみと自立に向けた介護		
7月5日	9:00～16:30	6	9-⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	3回目
7月12日	9:00～16:30	6	9-⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと	加藤恵子	4回目
7月19日	9:00～16:30	6	9-⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	
7月26日	9:00～14:40	4.5	9-⑪睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	
	14:50～16:20	1.5	9-⑫死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	加藤恵子	
	16:30～18:40	2	9-⑬介護過程の基礎的理解	加藤恵子	
8月2日	9:00～18:40	8	9-⑭総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	
8月9日	9:00～11:10	2	9-⑭総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	
	11:20～13:30	2	10-①振り返り	仁科乃吏子	
	14:20～16:30	2	10-②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	仁科乃吏子	
	16:40～18:00	1	修了試験	仁科乃吏子	

研修日程表（通信課程用）

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室
研修課程　介護職員初任者研修（通信課程）

研修期間：令和　8 年　7 月 6 日　～　令和　8 年月 18 日
通信最終締切日：令和　8 年 8 月 17 日

1　通学日程表

月日	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	講師	通信課題
7 月 6 日	9:00～9:30	0.5	開校式・オリエンテーション	古川喬子	
	9:30～12:40	3	1-①多様なサービスの理解	古川喬子	
	13:30～16:40	3	1-②介護職の仕事内容や働く現場の理	古川喬子	
	16:50～17:50	1	2-①人権と尊厳を支える介護	古川喬子	
	18:00～19:00	1	2-②自立に向けた介護	古川喬子	
7 月 7 日	9:00～10:00	1	3-①介護職の役割、専門性と多職種との連携	井原貴重	
	10:10～11:10	1	3-②介護職の職業倫理	井原貴重	
	11:20～12:20	1	3-④介護職の安全	井原貴重	
	13:10～14:10	1	4-①介護保険制度	井原貴重	
	14:20～15:20	1	4-③障害者福祉制度およびその他制度	井原貴重	
	15:30～16:30	1	5-①介護におけるコミュニケーション	井原貴重	
	16:40～18:50	2	5-②介護におけるチームのコミュニケーション	井原貴重	
7 月 13 日	9:00～11:10	2	6-①老化に伴うこころとからだの変化と日常	小野田眞久美	
	11:20～12:20	1	6-②高齢者と健康	小野田眞久美	
	13:10～14:10	1	7-①認知症を取り巻く状況	小野田眞久美	
	14:20～15:20	1	7-③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	小野田眞久美	
	15:30～16:30	1	7-④家族への支援	小野田眞久美	
	16:40～17:40	1	8-①障害の基礎的理解	小野田眞久美	
	17:50～18:20	0.5	8-②家族の心理、かかわり支援の理解	小野田眞久美	
7 月 14 日	9:00～16:30	6	9-④生活と家事	古川喬子	
	16:40～18:15	1.5	9-⑤快適な居住環境整備と介護	古川喬子	
7 月 20 日	9:00～10:40	1.5	9-⑤快適な居住環境整備と介護	小野田眞久美	
	10:50～18:15	6	9-⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	
7 月 21 日	9:00～16:30	6	9-⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	1 回目
7 月 27 日	9:00～16:30	6	9-⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	2 回目

7月28日	9:00～16:30	6	9-⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	3回目
8月3日	9:00～16:30	6	9-⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと	小野田眞久美	4回目
8月4日	9:00～16:30	6	9-⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	
8月10日	9:00～14:40	4.5	9-⑪睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	古川喬子	
	14:50～16:20	1.5	9-⑫死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	古川喬子	
	16:30～18:40	2	9-⑬介護過程の基礎的理解	古川喬子	
8月17日	9:00～18:40	8	9-⑭総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	
8月18日	9:00～11:10	2	9-⑭総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	
	11:20～13:30	2	10-①振り返り	仁科乃吏子	
	14:20～16:30	2	10-②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	仁科乃吏子	
	16:40～18:00	1	修了試験	仁科乃吏子	

研修日程表（ 通信課程用 ）

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

研修課程　介護職員初任者研修（ 通信課程 ）

研修期間：　2026年8月21日(金)　～　2026年11月13日(金)

通信最終締切日：　2026年11月6日(金)

1　通学日程表　　8月　通常コース

年 月 日	時　間	時間数	科目番号 / 項目番号 / 項目名		講　師	通信課題
2026年8月21日(金)	9:00 ～ 9:30	0.5		開校式・オリエンテーション	小野田眞久美	課題配布
	9:30 ～ 12:40	3	(1) ①	多様なサービスの理解	小野田眞久美	
	13:30 ～ 16:40	3	(1) ②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	小野田眞久美	
	16:50 ～ 17:50	1	(2) ①	人権と尊厳を支える介護	小野田眞久美	
	18:00 ～ 19:00	1	(2) ②	自立に向けた介護	小野田眞久美	
2026年8月28日(金)	9:00 ～ 10:00	1	(3) ①	介護職の役割、専門性と多職種との連携	加藤恵子	
	10:10 ～ 11:10	1	(3) ②	介護職の職業倫理	加藤恵子	
	11:20 ～ 12:20	1	(3) ④	介護職の安全	加藤恵子	
	13:10 ～ 14:10	1	(4) ①	介護保険制度	加藤恵子	
	14:20 ～ 15:20	1	(4) ③	障害者自立支援制度とその他制度	加藤恵子	
	15:30 ～ 16:30	1	(5) ①	介護におけるコミュニケーション	加藤恵子	
	16:40 ～ 18:50	2	(5) ②	介護におけるチームのコミュニケーション	加藤恵子	
2026年9月4日(金)	9:00 ～ 11:10	2	(6) ①	老化に伴うこころとからだの変化と日常	井原貴重	
	11:20 ～ 12:20	1	(6) ②	高齢者と健康	井原貴重	
	13:10 ～ 14:10	1	(7) ①	認知症を取り巻く状況	井原貴重	
	14:20 ～ 15:20	1	(7) ③	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	井原貴重	
	15:30 ～ 16:30	1	(7) ④	家族への支援	井原貴重	
	16:40 ～ 17:40	1	(8) ①	障害の基礎的理解	井原貴重	
	17:50 ～ 18:20	0.5	(8) ②	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	井原貴重	
2026年9月11日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ④	生活と家事	小野田眞久美	
	16:40 ～ 18:15	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	小野田眞久美	
2026年9月18日(金)	9:00 ～ 10:40	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	小野田眞久美	
	10:50 ～ 18:15	6	(9) ⑥	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	
2026年9月25日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	1回目提出
2026年10月2日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	古川喬子	2回目提出
2026年10月9日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑧	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	古川喬子	3回目提出
2026年10月16日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑨	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	秋山佳世子	4回目提出
2026年10月23日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑩	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	
2026年10月30日(金)	9:00 ～ 14:40	4.5	(9) ⑪	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	
	14:50 ～ 16:20	1.5	(9) ⑫	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	仁科乃吏子	
	16:30 ～ 18:40	2	(9) ⑬	介護過程の基礎的理解	仁科乃吏子	
2026年11月6日(金)	9:00 ～ 18:40	8	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	古川喬子	課題返却
2026年11月13日(金)	9:00 ～ 11:10	2	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	古川喬子	
	11:20 ～ 13:30	2	(10) ①	振り返り	古川喬子	
	14:20 ～ 16:30	2	(10) ②	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	古川喬子	
	16:40 ～ 18:00	1		修了試験	古川喬子	

研修日程表（ 通信課程用 ）

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

研修課程　介護職員初任者研修（ 通信課程 ）

研修期間：　2026年9月13日(日)　～　2026年12月6日(日)

通信最終締切日：　2026年11月29日(日)

1　通学日程表　　9月　通常コース

年 月 日	時　間	時間数	科目番号 / 項目番号 / 項目名		講　師	通信課題
2026年9月13日(日)	9:00 ～ 9:30	0.5		開校式・オリエンテーション	稲葉明久	課題配布
	9:30 ～ 12:40	3	(1) ①	多様なサービスの理解	稲葉明久	
	13:30 ～ 16:40	3	(1) ②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	稲葉明久	
	16:50 ～ 17:50	1	(2) ①	人権と尊厳を支える介護	稲葉明久	
	18:00 ～ 19:00	1	(2) ②	自立に向けた介護	稲葉明久	
2026年9月20日(日)	9:00 ～ 10:00	1	(3) ①	介護職の役割、専門性と多職種との連携	井原貴重	
	10:10 ～ 11:10	1	(3) ②	介護職の職業倫理	井原貴重	
	11:20 ～ 12:20	1	(3) ④	介護職の安全	井原貴重	
	13:10 ～ 14:10	1	(4) ①	介護保険制度	井原貴重	
	14:20 ～ 15:20	1	(4) ③	障害者自立支援制度とその他制度	井原貴重	
	15:30 ～ 16:30	1	(5) ①	介護におけるコミュニケーション	井原貴重	
	16:40 ～ 18:50	2	(5) ②	介護におけるチームのコミュニケーション	井原貴重	
2026年9月27日(日)	9:00 ～ 11:10	2	(6) ①	老化に伴うこころとからだの変化と日常	長藤成眞	
	11:20 ～ 12:20	1	(6) ②	高齢者と健康	長藤成眞	
	13:10 ～ 14:10	1	(7) ①	認知症を取り巻く状況	長藤成眞	
	14:20 ～ 15:20	1	(7) ③	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	長藤成眞	
	15:30 ～ 16:30	1	(7) ④	家族への支援	長藤成眞	
	16:40 ～ 17:40	1	(8) ①	障害の基礎的理解	長藤成眞	
	17:50 ～ 18:20	0.5	(8) ②	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	長藤成眞	
2026年10月4日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ④	生活と家事	小野田眞久美	
	16:40 ～ 18:15	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	小野田眞久美	
2026年10月11日(日)	9:00 ～ 10:40	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	長藤成眞	
	10:50 ～ 18:15	6	(9) ⑥	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	長藤成眞	
2026年10月18日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	1回目提出
2026年10月25日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	長藤成眞	2回目提出
2026年11月1日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑧	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	3回目提出
2026年11月8日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑨	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	4回目提出
2026年11月15日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑩	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	加藤恵子	
2026年11月22日(日)	9:00 ～ 14:40	4.5	(9) ⑪	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	稲葉明久	
	14:50 ～ 16:20	1.5	(9) ⑫	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	稲葉明久	
	16:30 ～ 18:40	2	(9) ⑬	介護過程の基礎的理解	稲葉明久	
2026年11月29日(日)	9:00 ～ 18:40	8	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	加藤恵子	課題返却
2026年12月6日(日)	9:00 ～ 11:10	2	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	
	11:20 ～ 13:30	2	(10) ①	振り返り	仁科乃吏子	
	14:20 ～ 16:30	2	(10) ②	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	仁科乃吏子	
	16:40 ～ 18:00	1		修了試験	仁科乃吏子	

研修日程表(通信課程用)

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

研修課程　介護職員初任者研修(通信課程)

研修期間：　2026年10月12日(月)　～　2026年11月23日(月)

通信最終締切日：　2026年11月17日(火)

1　通学日程表　　10月　短期コース

年 月 日	時　間	時間数	科目番号 / 項目番号 / 項目名		講　師	通信課題
2026年10月12日(月)	9:00 ～ 9:30	0.5		開校式・オリエンテーション	古川喬子	廃止
	9:30 ～ 12:40	3	(1) ①	多様なサービスの理解	古川喬子	
	13:30 ～ 16:40	3	(1) ②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	古川喬子	
	16:50 ～ 17:50	1	(2) ①	人権と尊厳を支える介護	古川喬子	
	18:00 ～ 19:00	1	(2) ②	自立に向けた介護	古川喬子	
2026年10月13日(火)	9:00 ～ 10:00	1	(3) ①	介護職の役割、専門性と多職種との連携	井原貴重	廃止
	10:10 ～ 11:10	1	(3) ②	介護職の職業倫理	井原貴重	
	11:20 ～ 12:20	1	(3) ④	介護職の安全	井原貴重	
	13:10 ～ 14:10	1	(4) ①	介護保険制度	井原貴重	
	14:20 ～ 15:20	1	(4) ③	障害者自立支援制度とその他制度	井原貴重	
	15:30 ～ 16:30	1	(5) ①	介護におけるコミュニケーション	井原貴重	
	16:40 ～ 18:50	2	(5) ②	介護におけるチームのコミュニケーション	井原貴重	
2026年10月19日(月)	9:00 ～ 11:10	2	(6) ①	老化に伴うこころとからだの変化と日常	加藤恵子	廃止
	11:20 ～ 12:20	1	(6) ②	高齢者と健康	加藤恵子	
	13:10 ～ 14:10	1	(7) ①	認知症を取り巻く状況	加藤恵子	
	14:20 ～ 15:20	1	(7) ③	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	加藤恵子	
	15:30 ～ 16:30	1	(7) ④	家族への支援	加藤恵子	
	16:40 ～ 17:40	1	(8) ①	障害の基礎的理解	加藤恵子	
	17:50 ～ 18:20	0.5	(8) ②	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	加藤恵子	
2026年10月20日(火)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ④	生活と家事	古川喬子	廃止
	16:40 ～ 18:15	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	古川喬子	
2026年10月26日(月)	9:00 ～ 10:40	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	小野田眞久美	廃止
	10:50 ～ 18:15	6	(9) ⑥	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	
2026年10月27日(火)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	工藤千恵	廃止
2026年11月2日(月)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	工藤千恵	廃止
2026年11月3日(火)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑧	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	長藤成眞	廃止
2026年11月9日(月)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑨	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	廃止
2026年11月10日(火)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑩	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	廃止
2026年11月16日(月)	9:00 ～ 14:40	4.5	(9) ⑪	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	廃止
	14:50 ～ 16:20	1.5	(9) ⑫	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	仁科乃吏子	
	16:30 ～ 18:40	2	(9) ⑬	介護過程の基礎的理解	仁科乃吏子	
2026年11月17日(火)	9:00 ～ 18:40	8	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	廃止
2026年11月23日(月)	9:00 ～ 11:10	2	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	廃止
	11:20 ～ 13:30	2	(10) ①	振り返り	仁科乃吏子	
	14:20 ～ 16:30	2	(10) ②	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	仁科乃吏子	
	16:40 ～ 18:00	1		修了試験	仁科乃吏子	

研修日程表（ 通信課程用 ）

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

研修課程　介護職員初任者研修（ 通信課程 ）

研修期間：　2026年12月11日(金)　～　2027年3月12日(金)

通信最終締切日：　2027年3月5日(金)

1　通学日程表　　12月　通常コース

年 月 日	時　間	時間数	科目番号 / 項目番号 / 項目名		講　師	通信課題
2026年12月11日(金)	9:00 ～ 9:30	0.5		開校式・オリエンテーション	加藤恵子	課題配布
	9:30 ～ 12:40	3	(1) ①	多様なサービスの理解	加藤恵子	
	13:30 ～ 16:40	3	(1) ②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	加藤恵子	
	16:50 ～ 17:50	1	(2) ①	人権と尊厳を支える介護	加藤恵子	
	18:00 ～ 19:00	1	(2) ②	自立に向けた介護	加藤恵子	
2026年12月18日(金)	9:00 ～ 10:00	1	(3) ①	介護職の役割、専門性と多職種との連携	古川喬子	
	10:10 ～ 11:10	1	(3) ②	介護職の職業倫理	古川喬子	
	11:20 ～ 12:20	1	(3) ④	介護職の安全	古川喬子	
	13:10 ～ 14:10	1	(4) ①	介護保険制度	古川喬子	
	14:20 ～ 15:20	1	(4) ③	障害者自立支援制度とその他制度	古川喬子	
	15:30 ～ 16:30	1	(5) ①	介護におけるコミュニケーション	古川喬子	
	16:40 ～ 18:50	2	(5) ②	介護におけるチームのコミュニケーション	古川喬子	
2026年12月25日(金)	9:00 ～ 11:10	2	(6) ①	老化に伴うこころとからだの変化と日常	小野田眞久美	
	11:20 ～ 12:20	1	(6) ②	高齢者と健康	小野田眞久美	
	13:10 ～ 14:10	1	(7) ①	認知症を取り巻く状況	小野田眞久美	
	14:20 ～ 15:20	1	(7) ③	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	小野田眞久美	
	15:30 ～ 16:30	1	(7) ④	家族への支援	小野田眞久美	
	16:40 ～ 17:40	1	(8) ①	障害の基礎的理解	小野田眞久美	
	17:50 ～ 18:20	0.5	(8) ②	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	小野田眞久美	
2027年1月8日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ④	生活と家事	工藤千恵	
	16:40 ～ 18:15	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	工藤千恵	
2027年1月15日(金)	9:00 ～ 10:40	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	古川喬子	
	10:50 ～ 18:15	6	(9) ⑥	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	古川喬子	
2027年1月22日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	古川喬子	1回目提出
2027年1月29日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	古川喬子	2回目提出
2027年2月5日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑧	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	工藤千恵	3回目提出
2027年2月12日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑨	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	4回目提出
2027年2月19日(金)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑩	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	
2027年2月26日(金)	9:00 ～ 14:40	4.5	(9) ⑪	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	
	14:50 ～ 16:20	1.5	(9) ⑫	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	仁科乃吏子	
	16:30 ～ 18:40	2	(9) ⑬	介護過程の基礎的理解	仁科乃吏子	
2027年3月5日(金)	9:00 ～ 18:40	8	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	古川喬子	課題返却
2027年3月12日(金)	9:00 ～ 11:10	2	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	古川喬子	
	11:20 ～ 13:30	2	(10) ①	振り返り	古川喬子	
	14:20 ～ 16:30	2	(10) ②	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	古川喬子	
	16:40 ～ 18:00	1		修了試験	古川喬子	

研修日程表（ 通信課程用 ）

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

研修課程　介護職員初任者研修（ 通信課程 ）

研修期間：　2027年1月10日(日)　～　2027年4月4日(日)

通信最終締切日：　2027年3月28日(日)

1　通学日程表　　1月　通常コース

年 月 日	時　間	時間数	科目番号 / 項目番号 / 項目名		講　師	通信課題
2027年1月10日(日)	9:00 ～ 9:30	0.5		開校式・オリエンテーション	加藤恵子	課題配布
	9:30 ～ 12:40	3	(1) ①	多様なサービスの理解	加藤恵子	
	13:30 ～ 16:40	3	(1) ②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	加藤恵子	
	16:50 ～ 17:50	1	(2) ①	人権と尊厳を支える介護	加藤恵子	
	18:00 ～ 19:00	1	(2) ②	自立に向けた介護	加藤恵子	
2027年1月17日(日)	9:00 ～ 10:00	1	(3) ①	介護職の役割、専門性と多職種との連携	井原貴重	
	10:10 ～ 11:10	1	(3) ②	介護職の職業倫理	井原貴重	
	11:20 ～ 12:20	1	(3) ④	介護職の安全	井原貴重	
	13:10 ～ 14:10	1	(4) ①	介護保険制度	井原貴重	
	14:20 ～ 15:20	1	(4) ③	障害者自立支援制度とその他制度	井原貴重	
	15:30 ～ 16:30	1	(5) ①	介護におけるコミュニケーション	井原貴重	
	16:40 ～ 18:50	2	(5) ②	介護におけるチームのコミュニケーション	井原貴重	
2027年1月24日(日)	9:00 ～ 11:10	2	(6) ①	老化に伴うこころとからだの変化と日常	小野田眞久美	
	11:20 ～ 12:20	1	(6) ②	高齢者と健康	小野田眞久美	
	13:10 ～ 14:10	1	(7) ①	認知症を取り巻く状況	小野田眞久美	
	14:20 ～ 15:20	1	(7) ③	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	小野田眞久美	
	15:30 ～ 16:30	1	(7) ④	家族への支援	小野田眞久美	
	16:40 ～ 17:40	1	(8) ①	障害の基礎的理解	小野田眞久美	
	17:50 ～ 18:20	0.5	(8) ②	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	小野田眞久美	
2027年1月31日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ④	生活と家事	長藤成眞	
	16:40 ～ 18:15	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	長藤成眞	
2027年2月7日(日)	9:00 ～ 10:40	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	稲葉明久	
	10:50 ～ 18:15	6	(9) ⑥	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	稲葉明久	
2027年2月14日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	古川喬子	1回目提出
2027年2月21日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	2回目提出
2027年2月28日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑧	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	3回目提出
2027年3月7日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑨	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	4回目提出
2027年3月14日(日)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑩	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	
2027年3月21日(日)	9:00 ～ 14:40	4.5	(9) ⑪	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	
	14:50 ～ 16:20	1.5	(9) ⑫	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	仁科乃吏子	
	16:30 ～ 18:40	2	(9) ⑬	介護過程の基礎的理解	仁科乃吏子	
2027年3月28日(日)	9:00 ～ 18:40	8	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	課題返却
2027年4月4日(日)	9:00 ～ 11:10	2	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	
	11:20 ～ 13:30	2	(10) ①	振り返り	仁科乃吏子	
	14:20 ～ 16:30	2	(10) ②	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	仁科乃吏子	
	16:40 ～ 18:00	1		修了試験	仁科乃吏子	

研修日程表（ 通信課程用 ）

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

研修課程　介護職員初任者研修（ 通信課程 ）

研修期間：　2027年2月8日(月)　～　2027年3月22日(月)

通信最終締切日：　2027年3月16日(火)

1　通学日程表　　2月　短期コース

年 月 日	時　間	時間数	科目番号 / 項目番号 / 項目名		講　師	通信課題
2027年2月8日(月)	9:00 ～ 9:30	0.5		開校式・オリエンテーション	古川喬子	課題配布
	9:30 ～ 12:40	3	(1) ①	多様なサービスの理解	古川喬子	
	13:30 ～ 16:40	3	(1) ②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	古川喬子	
	16:50 ～ 17:50	1	(2) ①	人権と尊厳を支える介護	古川喬子	
	18:00 ～ 19:00	1	(2) ②	自立に向けた介護	古川喬子	
2027年2月9日(火)	9:00 ～ 10:00	1	(3) ①	介護職の役割、専門性と多職種との連携	井原貴重	
	10:10 ～ 11:10	1	(3) ②	介護職の職業倫理	井原貴重	
	11:20 ～ 12:20	1	(3) ④	介護職の安全	井原貴重	
	13:10 ～ 14:10	1	(4) ①	介護保険制度	井原貴重	
	14:20 ～ 15:20	1	(4) ③	障害者自立支援制度とその他制度	井原貴重	
	15:30 ～ 16:30	1	(5) ①	介護におけるコミュニケーション	井原貴重	
	16:40 ～ 18:50	2	(5) ②	介護におけるチームのコミュニケーション	井原貴重	
2027年2月15日(月)	9:00 ～ 11:10	2	(6) ①	老化に伴うこころとからだの変化と日常	加藤恵子	
	11:20 ～ 12:20	1	(6) ②	高齢者と健康	加藤恵子	
	13:10 ～ 14:10	1	(7) ①	認知症を取り巻く状況	加藤恵子	
	14:20 ～ 15:20	1	(7) ③	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	加藤恵子	
	15:30 ～ 16:30	1	(7) ④	家族への支援	加藤恵子	
	16:40 ～ 17:40	1	(8) ①	障害の基礎的理解	加藤恵子	
	17:50 ～ 18:20	0.5	(8) ②	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	加藤恵子	
2027年2月16日(火)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ④	生活と家事	古川喬子	
	16:40 ～ 18:15	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	古川喬子	
2027年2月22日(月)	9:00 ～ 10:40	1.5	(9) ⑤	快適な居住環境整備と介護	小野田眞久美	
	10:50 ～ 18:15	6	(9) ⑥	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	
2027年2月23日(火)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	工藤千恵	1回目提出
2027年3月1日(月)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑦	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	工藤千恵	2回目提出
2027年3月2日(火)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑧	食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仲西進一	3回目提出
2027年3月8日(月)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑨	入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	小野田眞久美	4回目提出
2027年3月9日(火)	9:00 ～ 16:30	6	(9) ⑩	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	仁科乃吏子	
2027年3月15日(月)	9:00 ～ 14:40	4.5	(9) ⑪	睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	秋山佳世子	
	14:50 ～ 16:20	1.5	(9) ⑫	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	秋山佳世子	
	16:30 ～ 18:40	2	(9) ⑬	介護過程の基礎的理解	秋山佳世子	
2027年3月16日(火)	9:00 ～ 18:40	8	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	課題返却
2027年3月22日(月)	9:00 ～ 11:10	2	(9) ⑭	総合生活支援技術演習	仁科乃吏子	
	11:20 ～ 13:30	2	(10) ①	振り返り	仁科乃吏子	
	14:20 ～ 16:30	2	(10) ②	就業への備えと研修修了後における継続的な研修	仁科乃吏子	
	16:40 ～ 18:00	1		修了試験	仁科乃吏子	

（別添２－２）

令和７年　４月　15日現在

シラバス

商号又は名称：　株式会社土屋

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	・研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージをもって実感し以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
①　多様なサービスの理解	3	3	0	<講義内容> １　介護保険による居宅サービス ・訪問系サービスの種類 ・通所系サービスの種類 ・短期入所系サービスの種類 ２　介護保険による施設サービス ・施設サービスの種類 ・地域密着型サービスの種類 ３　介護保険外のサービス <講義・演習のポイント> ・訪問系サービス、住み慣れた環境、通所系サービス、社会参加の場、短期入所サービス ・施設サービス、自立支援、ユニットケア、地域密着型サービス ・フォーマル部門、民間市場部門、インフォーマル部門などをポイントに、介護保険の居宅・施設サービスの特性と種類を知り、介護保険外のサービスを知ってもらえるよう説明する。 また、障害福祉サービスの記載が無い為１節か２節の中で触れておく（参考資料：別紙１） 「介護職」のイメージ、各々が思う「介護」についてグループディスカッションも行う。
②　介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3	0	<講義内容> １　介護職の仕事内容や働く 現場の理解" ・各所で DVD 鑑賞 ２　介護サービスの提供に いたるまでの流れ" ３　介護過程とチームアプローチ ・気づきの力 ・地域連携 <講義・演習のポイント> ・訪問介護、通所介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、特養、老健、軽費老人ホーム、障害者支援施設 ・ケアマネジメント、ケアマネジャー、ケアマネジメントの構成要素・流れ、ケアプラン、介護計画、介護過程 ・ケアチーム、チームアプローチ、介護職の役割、地域連携 などをポイントに、介護サービスの種類と内容などを DVD を交えながら紹介、ケアマネとケアマネジメント、チームアプローチの重要性を知ってもらえるよう説明する。 また、障害者支援施設に補足を入れる（参考資料：別紙１） 「介護職の仕事内容」について考えグループで話し合う。
（合計時間数）	6	6	0	

使用する機器・備品等	テキスト１巻 P.2～41　WEB 動画 QR コード P.ix（巻頭の目次後のページにあります） （別紙１）障がい系の情報

（別添２－２）

令和７年　４月　15日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	・介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
1　人権と尊厳を支える介護	4.5	0.75 （45分）	7.5	<講義内容> １　人権と尊厳の保持 ・権利擁護 ・尊厳 ・エンパワメント ・ストレングス ２　ＩＣＦ ３　ＱＯＬ ・ＡＤＬ、ＩＡＤＬ ４　ノーマライゼーション ・障害者の権利宣言 ・障害者差別解消法 ５　虐待防止・身体拘束禁止 ・虐待防止法 （高齢、障害、児童） ・身体拘束 <講義・演習のポイント> ・日本国憲法13条、25条、アドボカシー、エンパワメント、プライバシー保護保護 ・ICF、ICIDH、している活動・できる活動 ・QOL、ADL、IADL ・ノーマライゼーション、障害者の権利宣言、障害者差別解消法 ・虐待防止法、虐待の実態、虐待への対応、身体拘束などをポイントに、尊厳という難しい言葉と意味を正しく解釈できるよう説明する。 また、障害児は児童福祉法の対象となる為、児童虐待防止法も紹介する（参考資料：別紙２）
2　自立に向けた介護	4.5	0.75 （45分）		<講義内容> １　自立支援 ・自己決定と自己選択 ・意欲と行動 ・している活動とできる活動 ２　介護予防 ・生活不活発病（廃用症候群） <講義・演習のポイント> ・自立支援、自立と依存、自己決定と自己選択、 している活動とできる活動、重度化の防止 ・介護予防と介護保険、生活不活発病、生活習慣病などをポイントに、自立とは何なのか自立を支えるために必要な考え方を学び自立支援の意味の理解、介護予防の考え方の理解ができるよう説明する。
（合計時間数）	9	1.5	7.5	

使用する機器・備品等	テキスト１巻 P.44～82

（別添２－２）

令和７年　４月　15日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(3)　介護の基本			
指導目標	・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
3　介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	3	＜講義内容＞ １　介護環境の特徴 ・地域包括ケア ２　介護の専門性 ・利用者主体 ・介護における自立 ・チームケア ・介護過程の展開 ３　介護にかかわる職種 ＜講義・演習のポイント＞ ・施設介護、訪問介護、地域包括ケアシステム、地域包括ケア、ヤングケアラー ・利用者の主体、生活意欲を高める、QOL の向上、チームケア、意図時に行う介護、介護過程の展開などをポイントに、介護職と関わる様々な職種を知り、協力して利用者と関わる意味や重要性を理解できるよう説明やグループワークで話し合いをする。
4　介護職の職業倫理	2	1		＜講義内容＞ １　専門職の倫理の意義 ２　介護福祉士の倫理 ＜講義・演習のポイント＞ ・職業倫理、介護福祉士、社会福祉士及び介護福祉士法、倫理綱領 などをポイントに、介護職として必要になる職業倫理を学ぶ。
5　介護職の安全	1	1		＜講義内容＞ １　介護職の心身の健康管理 ２　感染予防 ＜講義・演習のポイント＞ ・健康管理、疲労、食事、睡眠、ストレス、燃え尽き症候群、ケガ、事故 ・感染予防、手洗い・うがい、手の洗い方、血液や排泄物にふれる時・触れた後 などをポイントに、介護職の健康管理や感染予防の必要性の理解ができるよう説明する。
（合計時間数）	5	3	2	

使用する機器・備品等	テキスト１巻 P.84～133

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(4)　介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	・介護保険制度や障害福祉制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
6　介護保険制度	4.5	0.75 （45 分）	7.5	＜講義内容＞ １・介護保険制度創設の背景 ・および目的、動向" ２・介護保険制度の基本理念 ・介護保険制度のしくみの基礎的理解" ３・保険給付までの流れ ・介護給付と予防給付 ・地域支援事業 ・制度を支える財源、組織・団体の機能と役割" ＜講義・演習のポイント＞ ・高齢化、家族介護、応能負担と応益負担、基本理念、地域包括ケアシステム、制度のしくみ ・保険者と被保険者、第一号と第二号被保険者の違い、要支援・要介護、区分、特定疾病、ケアマネジメント、介護給付、地域支援事業 ・国・都道府県・市町村・その他組織の役割、第一号・第二号被保険者、特別徴収、普通徴収、利用者負担、応益負担などをポイントに、制度が出来た背景や介護保険制度の理解、組織や団体の役割と財政を理解できるよう説明する。
7　障がい者総合支援制度およびその他制度	4/5	0.75 （45 分）		＜講義内容＞ １・障害者福祉制度の概念 ・ICF、ICIDH ・自己選択、自己決定 ２・障害者福祉制度のしくみの基礎的理解" ３・サービス利用の流れ ・個人の人権を守る制度の概要 ・日常生活自立支援事業 ・成年後見人制度 ・個人情報保護法、消費者保護法
（合計時間数）	6	2	4	

使用する機器・備品等	テキスト１巻 P.136～215

（別添２－２）

令和７年　４月　16日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(5)　介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	・高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきではない）行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
8　介護におけるコミュニケーション	3	1	3	＜講義内容＞ １・コミュニケーションの意義、 ・目的、役割 ２・コミュニケーションの技法 ・言語コミュニケーション、 ・非言語コミュニケーション ３・利用者・家族との ・コミュニケーションの実際 ・真の意向を語れない理由 ・家族の心理 ・信頼関係の形成 ４・利用者の状況・状態に応じた ・コミュニケーション技術の実際 ＜講義・演習のポイント＞ ・コミュニケーション、コミュニケーションの基本、言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション ・利用者の思い、利用者の変化に気づく、ストレングス、共感、家族の心理、バイスティックの７原則などをポイントに、コミュニケーションの目的や技法、利用者や家族の思いや心理について考える事ができるようになる事が大切である事を説明する。 コミュニケーションについてのロールプレイングを実施する。
9　介護におけるチームのコミュニケーション	3	2		＜講義内容＞ １・記録における情報の共有化 ・記録の修正方法 ・個人情報 ・ヒヤリハット ２・報告・連絡・相談 ３・コミュニケーションを促す環境 ・会議の意味と目的 ＜講義・演習のポイント＞ ・記録の目的、記録の種類、記録の書き方、5W1H、修正方法、保護と管理、個人情報、ヒヤリハット ・報告、連絡、相談、だれにどのタイミングで報告・連絡・相談するのか、客観的と主観的の違いなどをポイントに、 記録の目的や記入方法、ヒヤリハットの重要性、報告・連絡・相談、会議の目的や意味を理解できるよう説明する。 また、報告・連絡・相談などを行いやすい環境を作る事が重要なことも合わせて伝える。 グループで「コミュニケーション」についての意義、重要性について意見交換する。
（合計時間数）	6	3	3	

使用する機器・備品等	テキスト１巻 P.218～266

（別添２－２）

令和７年　４月　15日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(6)　老化の理解			
指導目標	・加齢・老化にともなう心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
10　老化に伴うこころとからだの変化と日常	3	2	3	＜講義内容＞ １　老年期の定義 ・法律における高齢者の定義 ２　老年期の発達と老化にともなう心身の変化の特徴 ・老化は個人差が大きい ・喪失体験 ３　老化にともなう心身の機能の変化と日常生活への影響 ・恒常性の維持 ・様々な機能の変化 ＜講義・演習のポイント＞ ・老年期の定義、ステレオタイプ、高齢者の定義、介護保険法、エイジズム、個人差、喪失体験 ・生理機能の変化、恒常性の維持、老眼、難聴、皮膚感覚、咀嚼、嚥下、誤嚥、高血圧、不整脈、起立性低血圧、浮腫、誤嚥性肺炎、骨粗鬆症、パーキンソン病、変形性関節症、尿失禁、熱中症、短期記憶、長期記憶、認知症などをポイントに、 老年期、高齢者の定義と老化にともなう心身の変化、身体機能の変化と影響を理解できるように説明する。
11　高齢者と健康	3	1		＜講義内容＞ １　高齢者の症状・疾患の特徴 ・慢性と急性の違い ・非定型的とは ２　高齢者の疾病と日常生活上の留意点 ３　高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 ＜講義・演習のポイント＞ ・高齢者の健康、慢性疾患、健康寿命、生活習病、非定型的 ・慢性疼痛、変形性関節症、関節リウマチ、浮腫、エコノミー症候群、便秘、下痢、誤嚥、ノロウィルス、MRSA、嚥下 ・生活習慣病、三大生活習慣病、糖尿病、骨粗鬆症、関節リウマチ、白内障、緑内障、呼吸困難、人工透析、心不全、脳血管疾患、特定疾病、各種がんなどをポイントに、 高齢者に多く見られる症状と疾患の特徴、日常生活での留意点、高齢者に多い病気を理解できるよう説明する。
（合計時間数）	6	3	3	

使用する機器・備品等	テキスト１巻 P.268～332

（別添２－２）

令和７年　　４月　　15日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(7)　認知症の理解			
指導目標	・介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
12　認知症を取り巻く状況	2	1		＜講義内容＞ １　認知症ケアの理念 ２　認知症ケアの視点 ＜講義・演習のポイント＞ ・その人らしさ、自由を保障する、共感的に受け入れる、できることを見て支援するなどをポイントに、認知症の人を認知症と見るのではなく、一人の人として見て関わる、できる事をみて支援することを理解ができるよう説明する。
13　認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1	1	3	＜講義内容＞ １　認知症の人の生活障害、 心理・行動の特徴" ・中核症状 ・BPSD ２　認知症の人への対応 ＜講義・演習のポイント＞ ・中核症状、BPSD、環境、個人を見る、支援者自信を知る、気持ちを読み取る、表情に注意を払う、信頼関係 などをポイントに、認知症の中核症状と BPSD の理解と環境が及ぼす影響を理解ができるよう説明する。 認知症の人への対応をグループで話し合う。
14　家族への支援	1	1		＜講義内容＞ １　家族への支援 ・家族の葛藤を支える ２　認知症の人を介護する 家族へのレスパイトケア ・レスパイトケアの色々 ＜講義・演習のポイント＞ ・家族介護者、ステージ理論、家族支援 ・レスパイトとは、レスパイトサービス、家族支援、介護支援専門員、相談支援専門員、家族の話を聞く、家族への気遣い などをポイントに、家族支援の重要性や心理過程の理解やレスパイトについて知ってもらえるよう説明する。
（合計時間数）	6	3	3	

使用する機器・備品等	テキスト１巻 P.334～387

（別添２－２）

令和７年　４月　15日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(8)　障がいの理解			
指導目標	・障害の概念とICF、障害福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
15　障がいの基礎的理解	1	1	1.5	＜講義内容＞ １　障害の概念とICF ・障害は個性 ・障害者総合支援法 ・ICIDHとICF ２　障害者福祉の基本理念 ・ノーマライゼーション ・リハビリテーション ・インクルージョン ＜講義・演習のポイント＞ ・障害は個性、障害者の定義、障害者総合支援法、ICIDHとICF、ICFの考え方、国際障害者年、エンパワメント、自己選択、自己決定、医学モデルと社会モデル、障害者の権利に関する条約 ・ノーマライゼーション、バンク・ミケルセン、リハビリテーション、インクルージョン、ソーシャル・インクルージョンなどをポイントに、障がいとは、ICFとはの理解とノーマライゼーションなどの障害福祉の基本理念を知ってもらえるよう説明する。
16　家族の心理、かかわり支援の理解	1	1		＜講義内容＞ １　家族の理解と障害の受容支援 ・障害需要のステージ理論 ２　介護負担の軽減 ・レスパイトサービス ＜講義・演習のポイント＞ ・家族支援、障害の受容（参考資料：別紙３）、レスパイトなどをポイントに、家族の理解や障害受容の過程の理解、レスパイトの重要性の理解ができるよう説明する。
（合計時間数）	2	2	1.5	

使用する機器・備品等	テキスト１巻 P.390～453 （別紙３）障害需要のステージ理論（上田敏）

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　イ　生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
④生活と家事	7	6	0	＜講義内容＞ １　生活と家事の理解 ・家事の意義 ・一人一人に合わせた家事援助を行う ２　家事援助に関する基礎的知識と生活支援 ・ともに行う介護の視点 ・消費者保護 ・日常生活自立支援事業 ・成年後見人制度 ＜講義・演習のポイント＞ ・介護職の自宅での家事と利用者宅での家事援助の違い、訪問介護の生活援助、介護職としての専門性 ・調理・洗濯・掃除のプロセス、洗濯マーク、整理整頓、ゴミの捨て方、衣類・寝具などの保管方法、買い物と金銭管理、家計管理、消費者保護などをポイントに、生活と家事の重要性と専門性の理解、家事援助の具体的な内容と介護者の視点を理解できるよう説明する。 家事援助は介護職が自宅で家事を行う延長でできるように思われがちだが、利用者の生活歴や価値観を重視し調理の際の味付けや、掃除の仕方なども『一人一人に合わせた家事援助といったサービス』を行う必要があることも伝える。 買い物の際などの金銭管理は少なくても預かる前と返却時には可能な限り利用者と一緒に確認し、記録を行う必要があることも伝える。
⑤快適な居住環境整備と介護	7	3		＜講義内容＞ １　快適な居住環境に関する基礎知識 ・配慮した居住環境 ・家庭内事故と配慮 ２　高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用 ・住宅改修 ・福祉用具 ・福祉用具の給付対象 ＜講義・演習のポイント＞ ・居住環境、世帯の状況、配慮した玄関・廊下・階段、事故防止と物理的配慮 ・自己表現、自己実現、ユニットケア、介護保険の住宅改修、償還払い、事前申請制度、福祉用具、給付対象、利用までの流れ、障害の住宅改修などをポイントに、居住環境に関する基礎知識と事故を防ぐ配慮、住宅改修と福祉用具の種類の理解、給付対象と利用の流れを理解できるよう説明する。時間があれば障害の福祉用具などの制度を説明や体験をしてみる。
（合計時間数）	9	9	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.66～115

（別添２－２）

令和７年　４月　15日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　イ　生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	＜講義内容＞ １　整容に関する基礎知識 ・身支度を整える意味 ・洗面 ・整髪 ・ひげそり ・爪切り ＜講義・演習のポイント＞ ・自己表現、自分らしさ、生活意欲、社会参加、顔の拭き方（洗面）、整容、ひげそり、爪切り、化粧などをポイントに、整容の意味・重要性の理解と支援技術を理解できるよう説明する。 ＜実技：更衣（別紙）＞ 座位での更衣介助（一部介助） ※ボディメカニクス ※体位変換（仰臥位→側臥位） 更衣介助（全介助） ＜実技のポイント＞ 説明と同意、体調・姿勢（安全）確認、自立支援、自己決定と自己選択、プライバシー保護、肌の確認、リスクマネジメント 必要物品 ベッド、パジャマ複数枚、バスタオル
（合計時間数）	6	6	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.116～133 （実技用別紙）⑨(6)体位変換・更衣

（別添２－２）　　令和７年４月15日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　イ　生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	12	0	＜講義内容＞ １　移動・移乗に関する基礎知識 ・持っている力の活用 ・ボディメカニクス ・重心の位置 ２　移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法 ・車いすの開き方、閉じ方 ３　利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援 ●実技：立位まで（別紙） 仰臥位→側臥位（一部介助・全介助） 臥位→端座位（一部介助） 端座位→立位（一部介助） ・褥瘡 ●実技：杖歩行（別紙） 杖歩行（３動作歩行、段差昇降） ●実技：車いす移乗（別紙） ベッド→車いす（一部介助） 車いす→ベッド（一部介助） ●実技：車いす操作（別紙） 段差昇降 ・車いす操作時の介助方法 ４　移動・移乗を阻害する印の理解とその支援方法" ・意欲の低下と原因 ５　移動と社会参加の留意点と支援 ・外出時、外出先での留意点 ・社会参加 ＜講義内容＞ ・移動の必要性、拘縮、麻痺の種類、自立支援、ボディメカニクス、重心、福祉用具、車いす、リフトなどをポイントに、移動・移乗の必要性とからだのしくみの理解、福祉用具の活用法を理解できるよう説明する。 ボディメカニクス、重心を実技を交えながら伝える（おさらいする）。 ・体位変換、自立に向けた介護、安楽な体位、褥瘡、褥瘡好発部位と原因と予防、３動作歩行、車いす移乗・移動などをポイントに、利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援を理解する。 外出時のリスクマネジメントや車いす操作時の注意点なども伝える。（道の状態、歩行者や車両、見通しの悪い交差点など） ●実技のポイント 説明と同意、体調・姿勢（安全）確認、自立支援、自己決定と自己選択、リスクマネジメント 必要物品＝ベッド、杖、車いす ・QOL の低下、生活不活発病、外出の支援、外出先の留意点、自己決定と参加などをポイントに、外出支援と外出先の留意点と社会参加の意味を理解できるよう説明する。
（合計時間数）	12	12	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.134～182

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　イ　生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	＜講義内容＞ １　食事に関する基礎知識 ・摂食と嚥下 ２　食事環境の整備と食事に関する用具の活用法 ・好みの物と味付け ・食事の姿勢 ・クロックポジション ・自助具 ・食事に適さない姿勢 ●実技：食事介助（別紙） 座位での食事介助 ベッド上での食事介助 ・低栄養 ・脱水 ・口腔ケア ３　楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 ・食欲不振の原因となる疾患 ・疾患別の食事内容の留意点 ４　食事と社会参加の留意点と支援 ＜講義・演習のポイント＞ ・食事の楽しみ、コミュニケーション、経管栄養、誤嚥、摂食嚥下の５期などをポイントに、食事の意味と楽しみ、摂食嚥下について理解できるよう説明する。 ・食文化を知る、食事の基本的な姿勢、誤嚥、クロックポジション、自助具、喉頭蓋の動き、誤嚥やむせが起きやすい飲食物、飲食の際は必ず顎を引く、低栄養とは、脱水、口腔ケア、ブラッシング法、義歯などをポイントに、食事の姿勢と食事介助の知識を実技もふまえ理解できるよう説明する。 ●実技のポイント 説明と同意、体調・姿勢（安全）確認、自立支援、自己決定と自己選択、リスクマネジメント 必要物品 トロミ剤、ベッド、クッションなど （弁当など受講生持参物あり） ・食欲不振の原因、機能低下による食事への影響、食事と社会参加などをポイントに、食事を阻害する要因と支援方法、食事と社会参加を理解できるよう説明する。
（合計時間数）	6	6	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.182～213 （実技用別紙）⑨(8)とろみ剤、バランスガイド、食事介助 ⑨(8)食事バランスガイド

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　イ　生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅 ・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
9　入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	＜講義内容＞ １　入浴・清潔保持に関連する 基礎知識 ・風呂文化 ・入浴の三大作用とリスク ２　入浴・清潔保持に関連する 用具の活用法 ・バイタルサイン ・ヒートショック ・入浴設備と関連用具 ●実技：入浴介助（別紙） 入浴介助 手浴・足浴 洗髪（ケリーパッドの作り方） ・清拭 ３　楽しい入浴を阻害する要因の 理解と支援方法 ・皮膚の変化と特徴 ＜講義・演習のポイント＞ ・日本人と風呂の文化、入浴の効果、入浴の三大作用、皮膚の汚れなどをポイントに、入浴文化と効果と皮膚の汚れのしくみを理解できるよう説明する。 ・バイタルサイン、ヒートショック、事故防止の留意点、気化熱、入浴関連用具、入浴介助、手浴、足浴、洗髪、清拭などをポイントに、入浴の介助と関連用具を利用した実技をふまえ理解できるよう説明する。 ●実技のポイント 説明と同意、体調・姿勢（安全）確認、自立支援、自己決定と自己選択、プライバシー保護、肌の確認、リスクマネジメント 必要物品 風呂、浴槽手すり、バスボート、シャワーチェア、浴槽内チェア、浴槽内マット、シャワーヘッド、風呂桶、タオル２枚、バスタオル、洗面器 ・かゆみ、かぶれ、機能の低下と影響などをポイントに、身体機能の低下が及ぼす影響を理解できるよう説明する。
（合計時間数）	6	6	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.214～243 （実技用別紙）⑨(9)入浴

（別添２－２）

令和７年　４月　15日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　イ　生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
10　排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	＜講義内容＞ １　排泄に関する基礎知識 ・普通の排泄行為 ２　排泄環境の整備と関連する用具の活用法 ・排泄介護の原則 ・自立支援に向けたポイント ・環境整備と関連用具 ●実技：排泄介助（別紙） ベッド→P トイレ オムツ交換 尿器と差し込み便器 ・便秘、下痢への対応 ・感染拡大の防止 ３　爽快な排泄を阻害する要因の 理解と支援方法 ・心身機能が及ぼす影響 ＜講義・演習のポイント＞ ・普通の排泄行為、排泄と尊厳、尿意、ブリストル便形状スケール、便意が無いと排便できないなどをポイントに、排泄の必要性とからだのしくみを理解できるよう説明する。 また、排泄行為は大人になってからは誰にも（親にも恋人にも、夫婦でさえも）見られた事が無い行為で、それを介助される利用者の心境に大きな配慮が必要になることも伝える。 ・羞恥心の理解、自立支援、排便習慣、排便姿勢、スタンダードプリコーションなどをポイントに、排泄の支援と技術と用具、便秘と下痢への対応などを実技をふまえ理解できるよう説明する。 ●実技のポイント 説明と同意、体調・姿勢（安全）確認、自立支援、自己決定と自己選択、プライバシー保護、肌の確認、リスクマネジメント 必要物品 ベッド、ポータブルトイレ、トイレットペーパー、ハンドタオル、バスタオル、パジャマ下、オムツ、パッド、防水シート、陰洗セット、尿瓶（男・女用）、差し込み便器 ※P トイレの実技はテキストを利用（エプロン、汚染防止用敷物は不要）。清拭状況確認は特に尊厳を重視した声掛けを行う。 ・排尿誘導、できることを見つけできる方法を探す、尿失禁、既往性便秘と器質性便秘などをポイントに、心身機能の低下が排泄に及ぼす影響を理解できるよう説明する。
（合計時間数）	6	6	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.244～269 （実技用別紙）⑨(10)排泄（オムツ交換）

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　イ　生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	4.5	0	＜講義内容＞ １　睡眠に関する基礎知識 ・良い睡眠の為の生活習慣 ・睡眠の種類 ２　睡眠環境の整備と関連する 用具の活用方法 ・環境整備 ●実技：シーツ交換 シーツ交換、三角・四角コーナー ・睡眠と薬 ３　快い睡眠を阻害する要因の 理解と支援方法 ＜講義・演習のポイント＞ ・良質の睡眠、サーカディアンリズム、生活習慣、レム睡眠、ノンレム睡眠などをポイントに、睡眠の必要性と基礎知識を理解できるよう説明する。 ・安眠の為の環境整備、ベッドメイキング、ボディメカニクス、睡眠導入薬、睡眠持続薬、飲み方の注意と副作用などをポイントに、睡眠の環境整備とシーツ交換、空間構成と薬を理解できるよう説明する。 必要物品 ベッド、シーツ ・生活習慣病、睡眠リズムの変化、睡眠時無呼吸症候群などをポイントに、心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響を理解できるよう説明する。"
（合計時間数）	4.5	4.5	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.270～287 （実技用別紙）⑨(11)シーツたたみ方

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　イ　生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	1.5	0	＜講義内容＞ １　終末期に関する基礎知識 ・家族の変化 ・バイタルサイン ２　生から死への過程 ・最後に死を迎えたい場所 ・尊厳死 ３　「死」に向き合うこころの理解 ・死を受容するまでの 5 段階プロセス ・家族支援 ４　苦痛の少ない死への支援 ・チームケア ＜講義・演習のポイント＞ ・ターミナル、ターミナルケア、全人的ケア、家族の変化、バイタルサインの変化、地域包括ケアシステム、最期を迎えたい場所、終末期の QOL、尊厳死、リビングウィル ・キューブラ・ロス、死を受容するまでの 5 段階プロセス、あるがままを受け入れる、家族支援、チームケアなどをポイントに、死に向き合う心の理解と支援を理解できるよう説明する。 また、ターミナルケアを行う介護職は心身負担が大きくなるケースもあるので一人で抱え込まないよう周りのサポートが必須になることも伝える。 ターミナルケアの模擬演習も行う。
（合計時間数）	1.5	1.5	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.288～300

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　ウ　生活支援技術演習			
指導目標	・生活の各場面での介護について、事例を通じて、生活支援を提供する流れを理解し、技術を習得する。 ・利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
⑬介護過程の基礎的理解	2	2	0	＜講義内容＞ １　介護過程の目的・意義・展開 ・アセスメント ・計画の立案 ・実施 ・評価 ２　介護過程とチームアプローチ ●事例を用い ICF 表、 介護過程の展開を行う　（別紙） 国立花子さん　おむつ交換 ICF を作成 →ある程度（10～15 分）考え振り分けてもらった後、記入方法を伝え受講生用全員の ICF 表が同一になるようにする 介護過程の展開を作成 →各項目ごと又は一部項目（最低介護目標）に個人ワーク(概ね 30 分)、グループワーク（概ね 30 分）→発表を行い、他者が考えたものを共有し、自分との視点の違いや、良い物は取り入れるといったことを体験してもらう ＜講義・演習のポイント＞ ・介護過程、意図的な介護、具体的な根拠などをポイントに、介護過程の目的と意義を理解できるよう説明する。 ・チームアプローチ、専門職としての役割などをポイントに、チームアプローチと介護職の役割を理解できるよう説明する。 ・次回、実技演習を行う前に、この回で作成した介護過程を使用するので ICF と介護過程の展開を作成してもらう。 ここでの目的は ICF や介護過程を正しく作成する事より、ICF や介護過程というものがあり、それが何故必要なのか、介護過程の考え方がなぜ必要なのかを理解できるよう説明する。
（合計時間数）	2	2	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.316～323 （別紙）⑨(13)使用資料

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(9)　こころとからだのしくみと生活支援技術　ウ　生活支援技術演習			
指導目標	・生活の各場面での介護について、事例を通じて、生活支援を提供する流れを理解し、技術を習得する。 ・利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
⑭総合生活支援技術演習	10	10	0	＜講義内容＞ １　演習を行うにあたって ・誰のための介護なのか ●前回で作成した中春子さんの介護計画書をもとに手順書を作成する ・おむつ交換 ●岡山太郎さんの情報をもとに手順書を作成する ・車いす移乗・操作 ●実技演習に向けた練習 ●実技演習 国立花子さん　おむつ交換 岡山太郎さん　車いす移乗・操作 ＜講義・演習のポイント＞ ・利用者本人が望むその人らしい生活、根拠にもとづいた介護、一人一人に合わせた介護、介護過程の展開などをポイントに、利用者のニーズや心身の状況や環境にあった介護計画や支援技術の検討をしながら手順書の作成を行い、その中で一人一人の利用者に対し、根拠のある介護とは何か、適切な支援技術は何かを検討する。 準備物品 受講生用配布物 準備物品 ベッド、パジャマ上下、浴衣、バスタオル、オムツ、パッド、防水シート、陰洗セット、車いす、軍手"
（合計時間数）	10	10	0	
（科目（9）合計時間数）				

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.324～325 （別紙）⑨(14)使用資料

（別添２－２）

令和７年４月 15 日現在

シラバス

商号又は名称：株式会社土屋

科目番号・科目名	(10)　振り返り			
指導目標	・修了試験に向けて今まで学んできたことを振り返りながら、改めて介護とは何か、介護の主体は誰なのかを考えてもらう。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 （別紙でも可）
17　振り返り	2	2	0	＜講義内容＞ 1　研修と通じて学んだこと ・感じたこと、考えたことについて記入してもらう ・介護職としてのありかた ・連携の重要性の再確認 2　振り返り
18　就業への備えと研修修了後における実例	2	2	0	＜講義内容＞ 1　継続的な研修が大切 ・OJT、OFF-JT、SDS 2　介護職のキャリアアップと 介護職が目指す「介護」 3　介護職における接遇や就業マナー ＜講義・演習のポイント＞ ・介護職としての在り方や連携の必要性などを再確認し介護の主体は誰なのかを改めて問う。 ・研修などを通じスキルアップの重要性を伝える。
（合計時間数）	4	4	0	

使用する機器・備品等	テキスト２巻 P.350～355

別紙2－1　科目・カリキュラム一覧（見学等実習なし）

科目・カリキュラム番	科目名		カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる上限時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	演習に充てる時間（25時間以上）	合計履修時間数	履修日	講師	備考
1	職務の理解			6	0	6	0		6	4月3日	井原貴重	1日目
2	介護における尊厳の保持・自立支援			9	7.5	2.0	7.5		9.5	4月3日	井原貴重	
3	介護の基本			6	3	3	3		6	4月10日	仁科 乃吏子	2日目
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携			9	7.5	2.0	7.5		9.5	4月10日	仁科 乃吏子	
5	介護におけるコミュニケーション技術			6	3	3	3		6	4月10日	仁科 乃吏子	
6	老化の理解			6	3	3	3		6	4月17日	澤田達郎	3日目
7	認知症の理解			6	3	3	3		6	4月17日	澤田達郎	
8	障害の理解			3	1.5	1.5	1.5		3	4月17日	澤田達郎	
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	基本知識の学習	介護の基本的な考え方	2	2	0	2		2		春日川洋輔	
10			介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		春日川洋輔	
11			介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		春日川洋輔	
12		生活支援技術の講義・演習（この項目の合計51時間のうち半分程度25時間）は演習を行うこと	生活と家事	6	0	6		2	6	4月24日	工藤千恵	4日目
13			快適な居住環境と介護	3	0	3		1.5	3	4月24日 5月1日	工藤千恵 工藤千恵	5日目
14			整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	5月1日	工藤千恵	
15			移動・移乗 に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	0	12		8	12	5月8日 5月15日	小野田眞久美 小野田眞久美	6日目 7日目
16			食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	5月22日	小野田眞久美	8日目
17			入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	5月29日	加藤恵子	9日目
18			排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	6月5日	小野田眞久美	10日目
19			睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	0	4.5		3	4.5	6月12日	秋山佳世子	11日目
20			死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	0	1.5		0.5	1.5	6月12日	秋山佳世子	
21		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	0	2		6	2	6月12日	秋山佳世子	
22			総合生活支援技術演習	10	0	10			10	6月19日 6月26日	秋山佳世子 秋山佳世子	12日目 13日目
23	振り返り			4	0	4			4	6月26日	秋山佳世子	
	修了評価			1	0	1			1	6月26日	秋山佳世子	
	合計			131	40.5	91.5	40.5	37	132			

（注1）講義と演習を一体的に実施すること。

（注2）別紙12－1、12－2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を踏まえて実施するこ

（注3）「9～22. こころとからだのしくみと生活支援技術」には、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、

（注4）修了評価は、筆記試験により実施すること。

（注5）「1. 職務の理解」及び「23. 振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な
研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の
実習を活用することも可能

（注6）各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないように、十分留意すること。

別紙2－1　科目・カリキュラム一覧（見学等実習なし）

科目・カリキュラム番	科目名		カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる上限時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	演習に充てる時間（25時間以上）	合計履修時間数	履修日	講師	備考
1	職務の理解			6	0	6	0		6	5月17日	長藤成眞	1日目
2	介護における尊厳の保持・自立支援			9	7.5	2.0	7.5		9.5	5月17日	長藤成眞	
3	介護の基本			6	3	3	3		6	5月24日	井原貴重	2日目
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携			9	7.5	2.0	7.5		9.5	5月24日	井原貴重	
5	介護におけるコミュニケーション技術			6	3	3	3		6	5月24日	井原貴重	
6	老化の理解			6	3	3	3		6	5月31日	仁科 乃吏子	3日目
7	認知症の理解			6	3	3	3		6	5月31日	仁科 乃吏子	
8	障害の理解			3	1.5	1.5	1.5		3	5月31日	仁科 乃吏子	
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	基本知識の学習	介護の基本的な考え方	2	2	0	2		2		春日川洋輔	
10			介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		春日川洋輔	
11			介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		春日川洋輔	
12		生活支援技術の講義・演習（この項目の合計51時間のうち半分程度25時間）は演習を行うこと	生活と家事	6	0	6		2	6	6月7日	小野田眞久美	4日目
13			快適な居住居環境と介護	3	0	3		1.5	3	6月7日 6月14日	小野田眞久美 小野田眞久美	5日目
14			整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	6月14日	小野田眞久美	
15			移動・移乗 に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	0	12		8	12	6月21日 6月28日	仁科 乃吏子 加藤恵子	6日目 7日目
16			食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	7月5日	小野田眞久美	8日目
17			入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	7月12日	加藤恵子	9日目
18			排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	7月19日	仁科 乃吏子	10日目
19			睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	0	4.5		3	4.5	7月26日	加藤恵子	11日目
20			死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	0	1.5		0.5	1.5	7月26日	加藤恵子	
21		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	0	2		6	2	7月26日	加藤恵子	
22			総合生活支援技術演習	10	0	10			10	8月2日 8月9日	仁科 乃吏子 仁科 乃吏子	12日目 13日目
23	振り返り			4	0	4			4	8月9日	仁科 乃吏子	
	修了評価			1	0	1			1	8月9日	仁科 乃吏子	
	合計			131	40.5	91.5	40.5	37	132			

（注1）講義と演習を一体的に実施すること。

（注2）別紙12－1、12－2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を踏まえて実施するこ

（注3）「9～22. こころとからだのしくみと生活支援技術」には、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、

（注4）修了評価は、筆記試験により実施すること。

（注5）「1. 職務の理解」及び「23. 振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な
研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の実習を活用することも可能

（注6）各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないように、十分留意すること。

別紙2－1　科目・カリキュラム一覧（見学等実習なし）

科目・カリキュラム番	科目名		カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる上限時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	演習に充てる時間（25時間以上）	合計履修時間数	履修日	講師	備考
1	職務の理解			6	0	6	0		6	7月6日	古川喬子	1日目
2	介護における尊厳の保持・自立支援			9	7.5	2.0	7.5		9.5	7月6日	古川喬子	
3	介護の基本			6	3	3	3		6	7月7日	井原貴重	2日目
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携			9	7.5	2.0	7.5		9.5	7月7日	井原貴重	
5	介護におけるコミュニケーション技術			6	3	3	3		6	7月7日	井原貴重	
6	老化の理解			6	3	3	3		6	7月13日	小野田眞久美	3日目
7	認知症の理解			6	3	3	3		6	7月13日	小野田眞久美	
8	障害の理解			3	1.5	1.5	1.5		3	7月13日	小野田眞久美	
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	基本知識の学習	介護の基本的な考え方	2	2	0	2		2		工藤千恵	
10			介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		工藤千恵	
11			介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		工藤千恵	
12		生活支援技術の講義・演習（この項目の合計51時間のうち半分程度25時間）は演習を行うこと	生活と家事	6	0	6		2	6	7月14日	古川喬子	4日目
13			快適な居住居環境と介護	3	0	3		1.5	3	7月14日 7月20日	古川喬子 小野田眞久美	5日目
14			整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	7月20日	小野田眞久美	
15			移動・移乗 に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	0	12		8	12	7月21日 7月27日	加藤恵子 加藤恵子	6日目 7日目
16			食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	7月28日	加藤恵子	8日目
17			入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	8月3日	小野田眞久美	9日目
18			排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	8月4日	仁科乃吏子	10日目
19			睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	0	4.5		3	4.5	8月10日	古川喬子	11日目
20			死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	0	1.5		0.5	1.5	8月10日	古川喬子	
21		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	0	2		6	2	8月10日	古川喬子	
22			総合生活支援技術演習	10	0	10			10	8月17日 8月18日	仁科乃吏子 仁科乃吏子	12日目 13日目
23	振り返り			4	0	4			4	8月18日	仁科乃吏子	
	修了評価			1	0	1			1	8月18日	仁科乃吏子	
	合計			131	40.5	91.5	40.5	37	132			

（注1）講義と演習を一体的に実施すること。

（注2）別紙12－1、12－2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を踏まえて実施すること。

（注3）「9～22. こころとからだのしくみと 生活支援技術」には、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、

（注4）修了評価は、筆記試験により実施すること。

（注5）「1. 職務の理解」及び「23. 振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の実習を活用することも可能。

（注6）各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないように、十分留意すること。

別紙2－1　科目・カリキュラム一覧（見学等実習なし）

科目・カリキュラム番	科目名		カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる上限時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	演習に充てる時間（25時間以上）	合計履修時間数	履修日	講師	備考
1	職務の理解			6	0	6	0		6	8月21日	小野田眞久美	1日目
2	介護における尊厳の保持・自立支援			9	7.5	2.0	7.5		9.5	8月21日	小野田眞久美	
3	介護の基本			6	3	3	3		6	8月28日	加藤恵子	2日目
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携			9	7.5	2.0	7.5		9.5	8月28日	加藤恵子	
5	介護におけるコミュニケーション技術			6	3	3	3		6	8月28日	加藤恵子	
6	老化の理解			6	3	3	3		6	9月4日	井原貴重	3日目
7	認知症の理解			6	3	3	3		6	9月4日	井原貴重	
8	障害の理解			3	1.5	1.5	1.5		3	9月4日	井原貴重	
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	基本知識の学習	介護の基本的な考え方	2	2	0	2		2		工藤千恵	
10			介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		工藤千恵	
11			介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		工藤千恵	
12		生活支援技術の講義・演習（この項目の合計51時間のうち半分程度25時間）は演習を行うこと	生活と家事	6	0	6		2	6	9月11日	小野田眞久美	4日目
13			快適な居住居環境と介護	3	0	3		1.5	3	9月18日	小野田眞久美	5日目
14			整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	9月18日	小野田眞久美	
15			移動・移乗 に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	0	12		8	12	9月25日 10月2日	加藤恵子 古川喬子	6日目 7日目
16			食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	10月9日	古川喬子	8日目
17			入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	10月16日	秋山佳世子	9日目
18			排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	10月23日	加藤恵子	10日目
19			睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	0	4.5		3	4.5	10月30日	仁科乃吏子	11日目
20			死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	0	1.5		0.5	1.5	10月30日	仁科乃吏子	
21		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	0	2		6	2	10月30日	仁科乃吏子	
22			総合生活支援技術演習	10	0	10			10	11月6日 11月13日	古川喬子 古川喬子	12日目 13日目
23	振り返り			4	0	4			4	11月13日	古川喬子	
	修了評価			1	0	1			1	11月13日	古川喬子	
	合計			131	40.5	91.5	40.5	37	132			

（注1）講義と演習を一体的に実施すること。

（注2）別紙12－1、12－2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を踏まえて実施すること。

（注3）「9～22. こころとからだのしくみと生活支援技術」には、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、生活支援技術の習得状況の確認を含む。

（注4）修了評価は、筆記試験により実施すること。

（注5）「1. 職務の理解」及び「23. 振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の実習を活用することも可能。

（注6）各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないように、十分留意すること。

別紙2－1　科目・カリキュラム一覧（見学等実習なし）

科目・カリキュラム番号	科目名		カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる上限時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	演習に充てる時間（25時間以上）	合計履修時間数	履修日	講師	備考
1	職務の理解			6	0	6	0		6	9月13日	稲葉明久	1日目
2	介護における尊厳の保持・自立支援			9	7.5	2.0	7.5		9.5	9月13日	稲葉明久	
3	介護の基本			6	3	3	3		6	9月20日	井原貴重	2日目
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携			9	7.5	2.0	7.5		9.5	9月20日	井原貴重	
5	介護におけるコミュニケーション技術			6	3	3	3		6	9月20日	井原貴重	
6	老化の理解			6	3	3	3		6	9月27日	長藤成眞	3日目
7	認知症の理解			6	3	3	3		6	9月27日	長藤成眞	
8	障害の理解			3	1.5	1.5	1.5		3	9月27日	長藤成眞	
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	基本知識の学習	介護の基本的な考え方	2	2	0	2		2		長藤成眞	
10			介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		長藤成眞	
11			介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		長藤成眞	
12		生活支援技術の講義・演習（この項目の合計51時間のうち半分程度25時間）は演習を行うこと	生活と家事	6	0	6		2	6	10月4日	小野田眞久美	4日目
13			快適な居住居環境と介護	3	0	3		1.5	3	10月11日	長藤成眞	5日目
14			整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	10月11日	長藤成眞	
15			移動・移乗 に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	0	12		8	12	10月18日 10月25日	加藤恵子 長藤成眞	6日目 7日目
16			食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	11月1日	仁科乃吏子	8日目
17			入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	11月8日	加藤恵子	9日目
18			排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	11月15日	加藤恵子	10日目
19			睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	0	4.5		3	4.5	11月22日	稲葉明久	11日目
20			死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	0	1.5		0.5	1.5	11月22日	稲葉明久	
21		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	0	2		6	2	11月22日	稲葉明久	
22			総合生活支援技術演習	10	0	10			10	11月29日 12月6日	加藤恵子 仁科乃吏子	12日目 13日目
23	振り返り			4	0	4			4	12月6日	仁科乃吏子	
	修了評価			1	0	1			1	12月6日	仁科乃吏子	
	合計			131	40.5	91.5	40.5	37	132			

（注1）講義と演習を一体的に実施すること。

（注2）別紙12－1、12－2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を踏まえて実施すること。

（注3）「9～22. こころとからだのしくみと生活支援技術」には、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、生活支援技術の習得状況の確認を含む。

（注4）修了評価は、筆記試験により実施すること。

（注5）「1. 職務の理解」及び「23. 振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の実習を活用することも可能。

（注6）各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないように、十分留意すること。

別紙２－１　科目・カリキュラム一覧（見学等実習なし）

科目・カリキュラム番号	科目名		カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる上限時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	演習に充てる時間（25時間以上）	合計履修時間数	履修日	講師	備考
1	職務の理解			6	0	6	0		6	12月11日	加藤恵子	1日目
2	介護における尊厳の保持・自立支援			9	7.5	2	7.5		9.5	12月11日	加藤恵子	
3	介護の基本			6	3	3	3		6	12月18日	古川喬子	2日目
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携			9	7.5	2	7.5		9.5	12月18日	古川喬子	
5	介護におけるコミュニケーション技術			6	3	3	3		6	12月18日	古川喬子	
6	老化の理解			6	3	3	3		6	12月25日	小野田眞久美	3日目
7	認知症の理解			6	3	3	3		6	12月25日	小野田眞久美	
8	障害の理解			3	1.5	1.5	1.5		3	12月25日	小野田眞久美	
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	基本知識の学習	介護の基本的な考え方	2	2	0	2		2		工藤千恵	
10			介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		工藤千恵	
11			介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		工藤千恵	
12		生活支援技術の講義・演習（この項目の合計51時間のうち半分程度25時間）は演習を行うこと	生活と家事	6	0	6		2	6	1月8日	古川喬子	4日目
13			快適な居住環境と介護	3	0	3		1.5	3	1月15日	古川喬子	5日目
14			整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	1月15日	古川喬子	
15			移動・移乗 に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	0	12		8	12	1月22日 1月29日	古川喬子	6日目 7日目
16			食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	2月5日	工藤千恵	8日目
17			入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	2月12日	小野田眞久美	9日目
18			排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	2月19日	仁科乃吏子	10日目
19			睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	0	4.5		3	4.5	2月26日	仁科乃吏子	11日目
20			死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	0	1.5		0.5	1.5	2月26日	仁科乃吏子	
21		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	0	2		6	2	2月26日	古川喬子	
22			総合生活支援技術演習	10	0	10			10	3月5日 3月12日	古川喬子	12日目 13日目
23	振り返り			4	0	4			4	3月12日	古川喬子	
	修了評価			1	0	1			1	3月12日	古川喬子	
	合計			131	40.5	91.5	40.5	37	132			

（注１）講義と演習を一体的に実施すること。

（注２）別紙１２－１、１２－２「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を踏まえて実施すること。

（注３）「9～22. こころとからだのしくみと生活支援技術」には、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、生活支援技術の習得状況の確認を含む。

（注４）修了評価は、筆記試験により実施すること。

（注５）「1. 職務の理解」及び「23. 振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の実習を活用することも可能。

（注６）各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないように、十分留意すること。

別紙２－１　科目・カリキュラム一覧（見学等実習なし）

科目・カリキュラム番号	科目名		カリキュラム名	規定時間数	うち通信形式で実施できる上限時間	対面で実施する時間	通信形式で実施する時間	演習に充てる時間（25時間以上）	合計履修時間数	履修日	講師	備考
1	職務の理解			6	0	6	0		6	1月10日	加藤恵子	1日目
2	介護における尊厳の保持・自立支援			9	7.5	2	7.5		9.5	1月10日	加藤恵子	
3	介護の基本			6	3	3	3		6	1月17日	井原貴重	2日目
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携			9	7.5	2	7.5		9.5	1月17日	井原貴重	
5	介護におけるコミュニケーション技術			6	3	3	3		6	1月17日	井原貴重	
6	老化の理解			6	3	3	3		6	1月24日	小野田眞久美	3日目
7	認知症の理解			6	3	3	3		6	1月24日	小野田眞久美	
8	障害の理解			3	1.5	1.5	1.5		3	1月24日	小野田眞久美	
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	基本知識の学習	介護の基本的な考え方	2	2	0	2		2		小野田眞久美	
10			介護に関するこころのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		小野田眞久美	
11			介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5	5	0	5		5		小野田眞久美	
12		生活支援技術の講義・演習（この項目の合計51時間のうち半分程度25時間）は演習を行うこと	生活と家事	6	0	6		2	6	1月31日	長藤成眞	4日目
13			快適な居住環境と介護	3	0	3		1.5	3	2月7日	稲葉明久	5日目
14			整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	2月7日	稲葉明久	
15			移動・移乗 に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12	0	12		8	12	2月14日 2月21日	古川喬子	6日目 7日目
16			食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	2月28日	仁科乃吏子	8日目
17			入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	3月7日	小野田眞久美	9日目
18			排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	0	6		4	6	3月14日	小野田眞久美	10日目
19			睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	0	4.5		3	4.5	3月21日	仁科乃吏子	11日目
20			死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	1.5	0	1.5		0.5	1.5	3月21日	仁科乃吏子	
21		生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	0	2		6	2	3月21日	仁科乃吏子	
22			総合生活支援技術演習	10	0	10			10	3月28日 4月4日	仁科乃吏子	12日目 13日目
23	振り返り			4	0	4			4	4月4日	仁科乃吏子	
	修了評価			1	0	1			1	4月4日	仁科乃吏子	
	合計			131	40.5	91.5	40.5	37	132			

（注１）講義と演習を一体的に実施すること。

（注２）別紙１２－１、１２－２「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を踏まえて実施すること。

（注３）「9～22. こころとからだのしくみと生活支援技術」には、介護に必要な基礎的知識の理解の確認と、生活支援技術の習得状況の確認を含む。

（注４）修了評価は、筆記試験により実施すること。

（注５）「1. 職務の理解」及び「23. 振り返り」において、施設の見学等の実習を活用するほか、効果的な研修を行うため必要があると考えられる場合には、他のカリキュラムにおいても施設の見学等の実習を活用することも可能。

（注６）各カリキュラム内の時間配分については、内容に偏りがないように、十分留意すること。

土屋ケアカレッジ介護職員初任者研修

(添削指導及び面接指導の指導方法)

＜添削指導＞
添削課題(2)～(5)・添削課題(6)～(9)を各課題提出期日に提出し、添削責任者が添削返送日までに添削する。 (2)～(9)の各添削課題の合格点は、各 100 点満点中 70 点以上とする。 (70 点未満は課題の再提出)

＜面接指導＞
以下の講義科目の一部をスクーリングで実施する。

(2) 介護における尊厳の保持・自立支援
(3) 介護の基本
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携
(5) 介護におけるコミュニケーション技術
(6) 老化の理解
(7) 認知症の理解
(8) 障がいの理解
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術

別紙3　講師一覧表（介護職員初任者研修）

2026年8月24日現在

事業者名　土屋ケアカレッジ大宮教室

	氏名	担当科目・カリキュラム番号	資格	資格取得年月日	経験年数	専任・兼任	備考
1	工藤千恵	全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	介護福祉士	平成28年4月	4	兼任	講師
2	仁科 乃吏子	全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	介護福祉士	平成26年4月	8	兼任	講師
3	井原貴重	12生活と家事と13快適な住居環境と介護を除く全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	看護師	平成6年4月	5	兼任	講師
4	小野田眞久美	全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	介護福祉士	平成25年3月	12	兼任	講師
5	加藤恵子	12生活と家事と13快適な住居環境と介護を除く全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	准看護師	令和3年3月	4	兼任	講師
6	長藤成眞	全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	介護福祉士	平成11年4月	15	兼任	講師
7	古川喬子	全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	介護福祉士	平成20年4月	11	兼任	講師
8	稲葉明久	全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	介護福祉士	平成25年4月	13	兼任	講師
9	秋山佳世子	全科目 （1回の研修につき、1から8で3科目、9から20で3科目程度とする）	介護福祉士	平成5年3月	10	兼任	講師